

□議員名：松尾数則

1 アスベスト並びに揮発性有機化合物（VOC）対策について

論点	学校建築物のアスベスト並びに揮発性有機化合物（VOC）対策は十分か。
回答	学校施設のアスベスト並びに揮発性有機化合物対策については関係法令にのっとり適正に実施している。また、屋内等に露出していない保温材等については今後、国が調査の時期や方法を検討することになっている。

論点	市が管理している公共建築物についてアスベスト並びに揮発性有機化合物（VOC）対策は十分か。
回答	市が管理する公共建築物のアスベストについて石綿障害予防規則の一部改正により再検査を行った。その結果5施設に微量のアスベストが検出されたが封じ込め対策を行った。これにより市の保有する公共建築物についてはアスベスト対策は十分である。

論点	殿町公園に設置されている蒸気機関車のアスベスト対策は十分か。
回答	蒸気機関車のアスベスト使用について実態調査を行った。アスベストの使用は確認されたが処置方法に基づき飛散防止処置を行った。今後も点検は行っていく。

論点	青年の家にアスベストが有るとのことだが、現状はどうか。
回答	教育委員会で再度確認を行ったがアスベストは確認できなかった。

論点	ごみ焼却場においてアスベストを含有している材料が搬入されることは無いのか。
回答	少量のスレート等が搬入されることは有るが、これらについては埋立処分をして覆土する。

## 2 再生可能エネルギーについて

論点	山陽小野田市の再生エネルギーについての考え方を聞く。
回答	再生可能エネルギーの活用は重要な課題である。本市の再生可能エネルギーの導入は新山陽小野田市民病院や厚狭地区複合施設において太陽光発電設備等を計画している。

論点	太陽光発電設備の屋根貸し等について考え方を聞きたい。
回答	山陽小野田市の公共施設は老朽化した建物が多く太陽光パネルを置く期間が20年程度となると適地が見つからず話がまとまらなかった。

論点	小水力発電について県が適地を探していると聞いているが現状はどうなっているのか。
回答	農業用の小水力発電については県事業として寝太郎堰が候補に挙がっているが、事業費が1,800万程度、最大出力が5キロワットと非常に少なく、採算性の問題も有り、採択については未定である。

論点	間伐材の再利用促進を図るために、バイオマス燃料推進の考えは無いのか。
回答	山陽小野田市では年間170トンの間伐材が出る。これをチップにして小野田火力発電所において燃料として利用している。市内産材は微々たる量しか無く、有効利用することは難しい。

論点	バイオマス燃料については民間活力を利用する、また、東京理科大等頭脳集団とタイアップし、新たな道を開くといった手段は無いのか。
回答	東京理科大において、民間事業者からの相談があったとの話は聞いているが結果は確認していない。民間、東京理科大そして市が関与する必要があれば積極的に市としても応援する。

### 3 使用済み小型家電回収事業について

論点	使用済み小型家電回収事業についてその利用状況はどうか。
回答	人口1人当たりの回収量としては1.77キログラムで全国上位である。回収したパソコン等はまつば園で手作業により鉄、基盤、コンデンサー等14種種類に解体、再利用されている。

論点	山陽小野田市のリサイクルについての考え方を聞きたい。
回答	リサイクルについては特にリデュース、排出抑制が減量を図る上で最も重要で有ると考えている。ただこれには限界が有るので、リユース、リサイクルを行うことで補完していきたい。

論点	今回設置予定のごみ焼却場の排熱利用についてはどのような考えか。
回答	排熱利用については施設に使う湯とか熱利用の形で10%程度使用する。